

# ありがとう

総社中央小学校だより



No19

令和6年3月22日  
校長 藤本千登世



## 68名の卒業生が巣立っていきました



3月19日の卒業式には、68名の卒業生が立派に卒業証書を受け取り、中学校へと巣立っていきました。「お別れのことば」での呼びかけや歌に、6年間の学びの成果を全力で表現する姿は、参加者に感動を与えました。4年ぶりに在校生代表として5年生が参加し、最高の卒業式になりました。中学校での益々の活躍を中央小から応援したいと思います。

(倉敷ケーブルテレビの取材があり、kctニュースで放映され、ネットでも見られます。)



## 3月の品格教育の目標は「感謝」です



この度作成した横断幕が、総社中央小の正門と南門の側のフェンスに掲げられています。朝礼で子ども達には「これからも、地域の一員として、地域の方に笑顔や挨拶を届けたり、地域の方を助けたりすることで、地域と共に『ありがとう』を増やして



ほしいと思います。横断幕の『地域と共にありがとう』には、そんな気持ちが込められているのです。」と伝えました。

地域の皆様にはこの一年、安全見守り、学習支援、読み聞かせ、環境整備等々、様々な面で学校を支えていただき本当にありがとうございました。学校の方だけでは十分に行き届かない面をサポートしていただいたお陰で、子どもたちは心身ともに大きく成長することができました。今後も地域の皆様のお力をお借りしながら、地域の中の学校として、子どもたちの健やかな成長に努めて参りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

**笑顔と「ありがとう」あふれる思いやりのある学校・地域になることを願っています!**

# 1年間自主学習も頑張りました!



自主学習ノートを5Aさん・4Aさんが10冊、1Aさんが5冊終了しました。これで今年度は、のべ139名にJSGカード認定証を渡しました。春休み中も、今の学年で学習したことをもう一度確かめておくと、次の学年に自信をもって進級できると思います。春休みもレッツトライ!

## 「会釈ダンス」でフィーバー!!

運営委員会が歌謡曲「アイドル」の替え歌を作り、「会釈ダンス」を考えました。「楽しいことをしたいね」ということで、低学年と高学年で日にちを分け、昼休みに音楽室でひたすら踊りました。先生方も参加し、一緒に大いに盛り上がりました。会釈ができる児童が増えたので、運営委員会が「さらにレベルアップするには?」というアンケートを全校に行い、来年度につなげていきます。学校、家庭、地域が連携し、さらに挨拶のできる中央小を目指していきます。



低学年もノリノリです!



高学年は大フィーバー!



## 新リーダーとしての自覚が感じられる5年生

年間5回、来年入学してくるいじりの認定こども園の年長さんに、来年最上級生になる5年生がピア・サポート活動を行いました。一年間の活動を通して、園児の気持ちに寄り添いながら、自信をもってサポートできるようになった5年生は、新1年生へのサポート準備万全です。

5年生は、6年生から通学班長や縦割り班長等を引き継ぎ、張り切って頑張っています。また、毎朝の挨拶運動も6年生から引き継がれ、元気な声で挨拶する5年生は頼もしいです。さらに、卒業式に参加した5年生は、1年後の目標となる姿を見ることができ、新リーダーとしての自覚が高まったことでしょう。

春には新1年生を迎えます。最高学年としての活躍を期待しています!



張り切って挨拶運動!



卒業式での立派な態度



園児とすっかり仲良しに